

会報 「ナイ・ポの夢」

東区苗穂連合町内会だより

ザ・2017

レインボーサマーフェスティバル開催される

平成29年8月5日(土)、6日(日)の2日間にわたって、苗穂連合町内会の夏まつり「レインボーサマーフェスティバル」が、苗穂グリーン公園(北8条東19丁目)を会場に開催されました。

このお祭りは、平成8年に始まり、今年で22回目となる苗穂地区最大の夏のイベントです。当初は、苗穂連合町内会だけでなく伏古本町連合町内会、レインボー街路灯組合などとの共催でした。お祭りの名称は、当時の苗穂通や北13条通の街路灯に虹(レインボー)の看板が飾られていたことに由来しています。その後、平成17年から苗穂連合町内会主体の行事となって、現在に至っています。

この行事の最大の特徴は、地域の人たちによる手づくりのお祭りということです。町内会だけでなく、地域の各種団体や企業、自衛隊苗穂分屯地の方々など多くの皆様のご協力をいただき、会場設営や運営のすべてを手分けして行っています。お祭りの楽しみの一つは焼きとりやおでん、かき氷などの出店ですが、これも地域の人たちが運営しています。地域にお住まいの皆さんに楽しんでいただくため、関係者が力を合わせてお祭りを盛り上げています。

今年も夏らしい最高の天気恵まれ、老若男女、多くの方々にお越しいただきました。木下淳嗣東区長をはじめ、ご来賓も多数お見えになって、お祭りに華を添えてくださいました。生バンド演奏やフラダンスなどのステージ発表、盆踊り、よさこいソーランの演舞などで楽しく過ごした今年のレインボーサマーフェスティバルも、恒例のお楽しみ抽選会で幕を閉じましたが、ご参加くださった多くの方々の胸に夏の日の楽しい思い出として残り、地域の皆さんの絆をさらに強いものにしたのではないのでしょうか。

東区苗穂連合町内会

発行責任者：八田 力

事務所：東区苗穂町3丁目3-45

苗穂東まちづくりセンター内

TEL 742-4427



晴天の下 ふれあい運動会 開催される

平成29年8月27日(日)午前9時から、苗穂グリーン公園(北8条東19丁目)を会場に、苗穂連合町内会ふれあい運動会が晴天の下で開催されました。木下淳嗣東区長をはじめ多くのご来賓も駆けつけてくださいました。木下区長は、ごあいさつの後も熱心に出場者を応援されていました。今年も、小さなお子さんからお年寄りまで誰もが楽しめるよ



うに、障害物競走や玉入れなど13のゲームが行われました。今回から始まった種目「華のステージ」は、15人ずつ2組の出場者が、ステージに見立てた台の上は何人乗れるかを競います。狭いスペースですが、協力し合うことで、意外と全員乗ることができたようです。

すべての競技を終え、皆でおにぎりや味噌汁の昼食を食べた後は、お楽しみのビンゴ大会です。数字が読み上げられるたびに歓声が上がります。参加した皆さんは、最後まで夏の終わりの1日を楽しまれたようでした。

苗穂中央会館で こどもまつり が開かれました

平成29年7月8日(土)、苗穂中央会館(北6条東19丁目)で苗穂地区青少年育成委員会(渡邊一雄会長)主催の「こどもまつり」が開かれました。

午前10時の開場とともに、たくさんのお子もたちがやってきました。会館のホールにはストライクナイン、輪投げ、お菓子が詰まったお楽しみ袋つりなどのゲームが並んでいます。その他のゲームも、参加するとグミやキャンディなどが貰えます。子どもたちのリュックやかばんは、たちまちお菓子でいっぱいになりました。和室の幼児遊びのコーナーでは、小さなお子もが、ままごとセットやだるま落として楽しそうに遊んでいました。この日は、近所のお子もや親子連れだけでなく、苗穂児童会館の先生とお子もたちも遊びに来てくれました。正午の閉会まで、会館には、たくさんのお子もたちの明るい声が響いていました。



子どもたちの安全を守るために スクールゾーン実行委員会

スクールゾーンは、通学路の安全を確保するために、小学校などの半径300~500mの範囲に設定された地域です。各スクールゾーンごとに実行委員会が設けられており、札幌市立苗穂小学校に設置された「苗穂小学校スクールゾーン実行委員会」も、学校、PTA、地域の町内会・自治会、交通安全母の会、交通安全指導員、スクールガードなどを構成団体に、交通安全標語プレートの作製、交通安全教室の開催、集団登下校訓練の実施、冬道の交通安全指



導などの活動を通じて、子どもたちが安心・安全に登下校できるよう、地域ぐるみで交通安全対策に取り組んでいます。

特に、信号機のない同校北側の通学路では、登校時間帯に道路にカラーコーンを設置して車両進入禁止の周知を図るなど、子どもたちの安全を守るための活動を続けています。夏休みが終わったばかりのこの日も、朝8時になると道路上にカラーコーンが置かれ、教職員やPTA、交通安全指導員、スクールガードなど多くの地域の大人たちに見守られながら、安心して登校する子どもたちの姿が見られました。

苗穂連合町内会定期総会・地区交流会が開催されました

平成29年5月26日(金)午後5時から、札幌市苗穂・本町地区センター(本町2条7丁目)を会場に、苗穂連合町内会の平成29年度定期総会が、単位町内会・自治会から約70名の方が出席して開催されました。会議は約1時間に及び、慎重審議を経て平成28年度事業報告と収支決算報告、平成29年度の事業計画案と収支予算案などすべての案件が原案どおり承認されました。

定期総会終了後の午後6時30分からは、同じ会場で地区交流会が開催されました。交流会には、単位町内会・自治会の役員や地域の各種団体の代表など多くの方が

出席しました。参加者は、木下淳嗣東区長をはじめお招きした来賓を交えて、地域のまちづくりや町内会の運営に関して情報交換を行うなど、大変有意義な時間を過ごしました。

また、交流会の席上、長く地域の発展に尽力された10名の方々に対する札幌市長、東区長、苗穂連合町内会長からの感謝状、表彰状の贈呈式が行われ、受賞者はたくさんの出席者から祝福を受けていました。



苗穂グリーン公園で野外レクを楽しみました

平成29年7月22日(土)午前10時から、苗穂グリーン公園(北8条東19丁目)にたくさん子どもたちが集まって野外レクを楽しみました。このイベントは、暑い夏のひととき、レクリエーションを通じて地域子どもたちが、学区や学年を飛び越えて友達の輪を広げることなどを目的に、苗穂連合町内会が毎年開催しているものです。

未明まで降っていた激しい雨が嘘のように上り、青空に白い雲が浮かぶ最高の天気になりました。苗穂児童会館の倉住敏子館長の指導でレクリエーション開始、最初は「しっぽ取りゲーム」です。3チームに分かれてハチマキの「しっぽ」を取り合います。どの子も「しっぽ」を取られまいと真剣そのもの、なかなか勝負はつきませんでした。フラフープ送り、お玉リレー、手つなぎ鬼など6つのゲームでグラウンドを駆け回った子どもたちはお腹がペコペコです。お昼は、バーベキューでした。テーブルを運んだり、野菜を切ったり、炭火をおこしたり、皆で協力して準備したバーベキューの味は格別でした。



消防自動車 で「人と地球のいのちを守る」北海道モリタ

子どもたちの写真会でも絵本でも人気がある消防自動車、その消防自動車を製造している会社が苗穂にあります。苗穂町13丁目の株式会社北海道モリタです。大正4年(1915年)の創業で、北海道全域の消防本部から発注を受け、いろいろな用途に対応する消防自動車を製造しています。ポンプ車、はしご車、コンビナート向けや空港用の消防車、寒冷地向け大型水槽車などの開発、製造、販売、整備、保守点検を行っています。

消防自動車のドアには、道内各地の市町村の名前が書かれています。工場の前を通りかかったときに自分の古里の名前を見つけて、懐かしく思ったという話題が町内会の集まりでも聞かれます。幼稚園や小学校の学習にも協力し、要請があれば消防自動車を公開するなど、地域との連携にも配慮して事業を展開しています。



特殊詐欺警報発令中！ 皆様ご注意ください



特殊詐欺とは、オレオレ詐欺や還付金詐欺のような、不特定多数の人に電話等の通信手段を使って、対面しないで金品をだまし取る詐欺の総称です。道内では、最近、特殊詐欺の被害が急増しており、札幌市内でも多くの事件が発生しています。北海道警察の発表によると、今年1月から7月末までの道内における特殊詐欺の認知件数は153件、被害総額は前年同期を約8千500万円上回る約3億1千7百万円にも及んでいます。

このような特殊詐欺被害の防止のために、苗穂地区地域安全活動推進委員(吉正男チーフリーダー)の皆さんが、

2か月に1度の年金支給日に札幌苗穂郵便局(苗穂町4丁目)前で街頭啓発を続けています。8月15日(火)も午前9時から、緑色のジャンパーを着たメンバーが、郵便局を訪れたお年寄りなどにテッシュペーパーや啓発用品を手渡ししながら、注意を呼び掛けました。皆さんも「自分は大丈夫」と思わず、現金を送ったり、手渡したり、振り込んだりする前に、ご家族や警察に相談するなどして、特殊詐欺の被害に遭わないように十分ご注意ください。

五月の空に鯉のぼりが泳ぎました

苗穂連合町内会では、子どもたちの健やかな成長を願って、毎年、端午の節句の季節に、苗穂グリーン公園(北8条東19丁目)に鯉のぼりを掲揚しています。今年も4月23日から5月7日まで、約30mのロープに11本の鯉のぼりと吹き流しを掲揚しました。鯉のぼりたちは、満開の桜を背景に五月の空を気持ちよさそうに泳いでいました。でも、仲間が少ないためか、心なしか淋しそうにも見えました。

少子化や住宅事情の変化などの影響もあり、近年は鯉のぼりを掲げる家が少なくなったようです。連合町内会では、

日本の風習を大切に、これからも鯉のぼりの掲揚を続けていくこととしています。そして、できれば、もう少し多くの鯉のぼりを大空に泳がせたいと考えています。もし、皆さんのご家庭に、お子さんが成長されて掲揚しなくなった鯉のぼりがありましたら、連合町内会にご寄付いただけませんか。

ご寄付くださる方は、苗穂東まちづくりセンター(電話 742-4427)までご連絡くださるようお願いいたします。



東区苗穂地区の話題がご覧になれます。

パソコン・スマホから「苗穂東まちづくりセンター」で検索してください。

【お知らせ】今後の大きな行事の予定

- 10月22日(日) ひがしく健康スポーツまつり (つどーむ)
- 12月3日(日) 苗穂連町ふれあいもちつき大会(苗穂・本町地区センター)
- 30年1月27日(土) 苗穂地区子ども雪の祭典(苗穂グリーン公園)

